

# NEW NORMAL for SENDAI

## 杜の都復活祭

新型コロナウイルス感染症  
対策についての効果検証報告書



**【事前告知】**

イベントのチラシやホームページにおいて、参加者の皆さまに対する感染拡大防止策への協力要請を明記し、当日のトラブル防止に努める。

- WEB上での事前来場者登録（氏名 電話番号 など）について、チラシやホームページで周知
- イベント滞在時間の規制（最大滞在時間を2時間とすることなど）
- 高齢者や基礎疾患がある者は、混雑時、自己判断で入場しない。
- 接触確認アプリ（COCOA）、みやぎお知らせコロナアプリ（MICA）の推奨。

**【計画時 設営時 徹底事項】****下記項目のチェックリストの作成とチェックスケジュールの管理徹底****レイアウトプラン 3密の回避**

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 間近で会話や発生をする密接場面

**関係者の名簿管理**

- 主催者、会場管理・運営者、出展者、関係業者問わず、イベント会場に入場するスタッフは、万が一の感染が発生した場合に備え、事前に全員の名簿を作成し3週間以上保管すること。

**事前準備**

- 政府・各自治体が発行する最新情報を随時取得し、「感染疑い時対応マニュアル」の作成を行うこと。
- イベントの計画時から、開催地域の感染状況を踏まえ、会場管理・運営者や会場が所在する都道府県と細部に至るまで調整し、当該要請等を踏まえ適切に対応すること。
- イベント来場者に対し、感染予防のためのマスク着用義務や検温を行うことや、発熱等の症状がある場合には来場を控えるよう、また、身体的距離の確保、マスク着用、手指消毒、非接触確認アプリへ協力いただくことなどについてチラシやWEBサイト等において、周知・広報すること。
- 感染疑い者発生時に備え、会場管理・運営者と協力し対策についての役割分担、責任範囲、感染疑い発生時の対応手順や担当者、管轄保健所、健康電話相談窓口(コールセンター)の電話番号等が記載されているマニュアルを作成し、関係者に周知徹底を図ること。

**運営時**

- イベント会場入口に、来場者の検温ができる機器を配置する
- イベント会場入口に消毒液を設置し、来場者に手指の消毒を義務付けること。  
また、テーブルや椅子などもこまめに消毒をする。
- イベント会場内に、感染防止策がわかるように、看板やポップを多く設置する。

会場全体図



・公園を会場とする以上、イベントに参加されない市民の皆さまの動線を公園内に確保する必要があるとの仙台市からの依頼に基づき、市民広場中央部分に通路を設けた。しかし、感染拡大防止のためにもイベントスペースを広く確保する必要があるため、結果として会場内の収容可能人数が少なくなってしまい、収益面において課題となった。

◆感染防止対策

ゲート共通事項

【入場の受付】

体温計等の機器による入場者に対する検温を行うこと。

【入場を制限する項目】

- ① 入場時の検温で37.5度以上の発熱確認があった場合。
- ② 息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさや、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合。
- ③ 新型コロナウイルス感染陽性とされた者との濃厚接触がある場合。
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触の可能性がある場合。

【入場の規制】

○ 会場内の密を防ぐため、会場内の最大滞在可能時間は2時間とする。入場時に装着するリストバンドの色を2時間ごとに変えることによって、区別する。

○ 常に会場内の人数を確認し、来場者数に余裕がある場合など調整する。最大2000人を設定する。

○ 入場規制の場合は、入場可能な時間帯の整理券を配布する。

入場時間 9:30~12:00



入場時間 12:00~14:00



入場時間 14:00~16:00



入場時間 16:00~18:00



◆検証・課題・反省点

○ 検温器

Aゲート…サーマルカメラPC型 1台

※異常時には非接触型体温計を使用(数名)



1. 入場待ちの待機列は最大で20名程度であった。警備員の誘導を守り、混乱もなく、適度な間隔を取って並んでいただいた。
2. 連絡先の記入拒否、検温拒否の方には入場をお断りした(各1名)。また、検温したところ体温が高い来場者1名は自ら入場を辞退した。マスク未着用者が若干名いたが、主催者が用意していた予備マスクを配布することで対応した。

B Cゲート…非接触型 各1台  
(最後まで正常作動)

製品仕様



○ 入場の規制について

1. 当初、最大滞在可能時間は2時間としていたが、会場内のスペースに余裕があり、密を生じなかった時間帯には、退場のアナウンスは行わず、2時間経過後も引き続きイベントに参加いただいていた構わないこととした。会場内での混乱はなかった。
2. リストバンドについて、例えば13時50分に来場された方には赤色のリストバンドを装着するなど、一定程度柔軟に対応したが、線引きが難しかった。
3. 4時頃、累計来場数が2,000名を超えたため、2時間以上滞在者している方には退場をアナウンスした。(黄色と青色のリストバンドの方に退場をお願いした。)
4. 通常のイベント開催時とは異なり、来場者数を常に管理する必要があったため、注意を要した。

## Aゲート 感染対策

## ◆ 検証・課題・反省点

## 【入場の受付】

1. WEB上での来場者登録  
氏名、連絡先、健康状態について、入場前にWEB上の登録フォームにてご登録いただいた。
2. 連絡先の記入  
WEB上での来場者登録をされていない方には、用紙への氏名と電話番号の記入を依頼し、健康状態にも異常がないことを確認した。

## 【入場の受付】

## 事前Web登録

1. 高齢者は若干の戸惑いがあった。
2. WEB上での来場者登録ができない方には、連絡先等の記入を依頼した。
3. WEB上での来場者登録でご入場いただいた方が6割、連絡先をご記入いただいたうえで入場された方が4割であった。



- ・今後、屋外モデルイベント開催時における入場時の氏名や連絡先の記入、健康状態の確認が一般的になれば、さらに入場はスムーズになると思われる。
- ・WEB上での来場者登録のご案内や問診事項についての説明など、普段より多くのスタッフが必要となるため計画時の人件費の確保が課題となる。



※入場待ちをされる方にも、WEB上での来場者登録の方法についてご案内した。

Aゲート 感染対策

【表記物など】

① 待機列については、待機目安を貼付したカラーコーンを配置することによって、来場者が前後の間隔を最低1m(できるだけ2mを目安に)確保して並ぶことができるように、工夫すること。(カラーバーの場合約1.8m確保できる)

② マスクの着用や手洗いの励行についての表示を入口付近及び会場内に設置すること。

※ マスクを忘れた方へは主催者が準備、配布する(500枚準備)



NEW NORMAL for SENDAI

杜の都復活祭

入場には、入場登録と検温が必要です!

会場内でのご協力をお願いします。



来場者が多数の場合、入場を制限する場合があります。

【入場の受付】

- 検温を行います。
- 個人情報のご入力にご協力ください、または Web 入場登録にご協力ください。

【以下の場合、入場をお断りいたします。】

- ① 検温で37.5度以上の発熱確認があった場合。
- ② 悪寒しさ(呼吸困難)・強いだるさや、咳・咽頭痛などの症状がある場合。
- ③ 新型コロナウイルス感染症患者とされた者との濃厚接触がある場合。
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触の可能性のある場合。



入場ゲート

◆ 検証・課題・反省点

【表記物について】

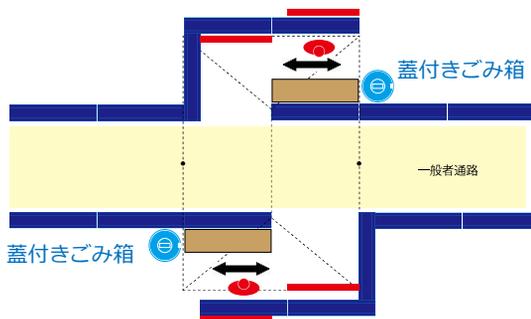
① 入場待機中のソーシャルディスタンスの確保は、来場者の方も普段の生活で慣れ始めているのか自発的に行っていた。ただし、お子様連れの場合には保護者の方も多方面に注意が必要になり、結果として前に詰めてしまう場合があるため、適宜お声がけするなどの対応が望ましい。

② ほとんどの方が、マスクを着用していた。着用していない方には事前に準備していたマスクを配布した。

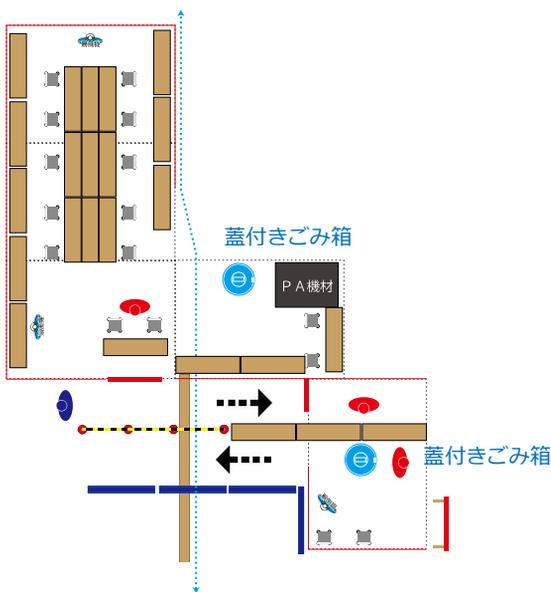
※ 表記物、目印だけでは100%注意喚起できないため、スタッフからの声かけが基本となる。表示物は声かけの補助的な役割となった。

## B Cゲート 感染対策

## Bゲート レイアウト



## Cゲート レイアウト



## B Cゲート … 流れ

## 【退場】

- ① リストバンドを回収する。ふた付きの容器に破棄する。
- ② 退場人数のカウントをする。

## 【再入場の場合の退場】

- ① Bゲート・Cゲート以外からは、再入場できないことを説明する。
- ② 入場の制限をする場合があることを説明する。

## 【再入場】

- ① 入場リストバンドの確認。
  - ② 上記がない場合は、Aゲートへ誘導。
  - ③ 検温、消毒をして入場誘導。
- ※ 再検温で37.5度以上発熱の場合は、再入場できません。

## ◆ 検証・課題・反省点

## 【退場について】

① リストバンドを回収する手間があった。そのため列ができる場面があったが、警備員と連携して混乱なく対応できた。

② 定期的に退場者数を把握して管理することができた。

## 【再入場について】

リストバンドのおかげでスムーズな運営ができた。再検温を面倒だと思う方がいたが、説明しご理解いただいた。

また、来場者数によっては、入場ができない場合がある説明も添えた。トイレに行きたい方もおり、入場規制をする場合には、再入場者の入場時の対応についても事前に想定しておく必要がある。



ステージ観覧席 対策



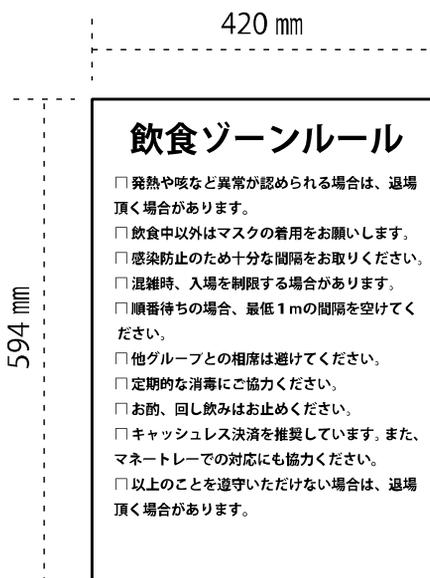
ベンチイス

1800mmサイズのベンチの真ん中の位置（約1,000mm）に座らないようポップを貼る。ベンチとベンチの間 に1,000mmの間隔を設ける。

ステージ観覧席 ルール

- ① 飲食禁止（熱中症対策のための水分補給は可）
- ② マスクの着用

飲食ゾーン



飲食専用の席であるため観覧用では使用しない。

- ② 定期的な消毒に協力いただく。

詳細次ページ

◆ 検証・課題・反省点

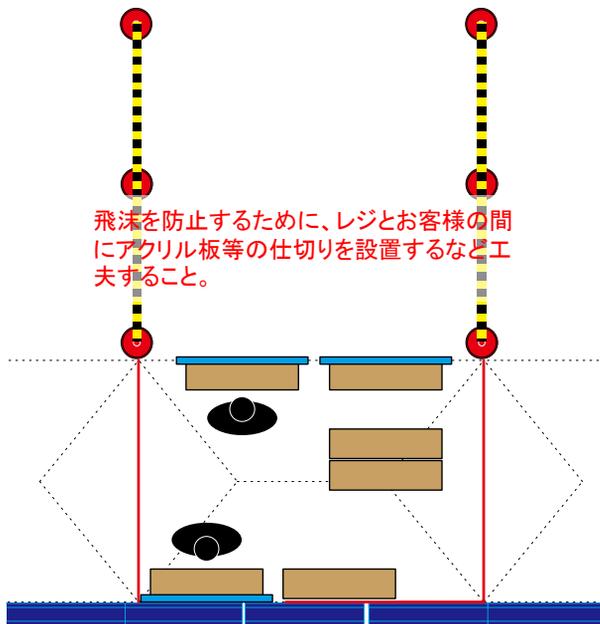


- ・ステージと観覧席最前列との距離は約7mあり、飛沫範囲が広くしゃみが6mと考えればステージ内容的に十分な距離は確保できた。
- ・ ソーシャルディスタンスを考えて、ベンチ1台に定員2名としていたが人気ステージになると座る場所が不足してしまい、3名以上座るベンチが発生した。
- ・ お酒に酔って大声を出したり、踊ったりする来場者がいたが、警備員とスタッフが冷静に協力要請を行い、速やかに対処することが出来た。
- ・ 14時頃、累計来場者数が2,000名を超えたため、2時間以上滞在している方に対して退場をアナウンスしたが、混乱なくオペレーションできた。
- ・ 定期的なベンチの消毒を施した。来場者も協力的だった。
- ・ 飲食ゾーンのベンチが足りなくなった時間帯があったが、来場者にもう少しお待ちいただけるように説明し、ご理解をいただいた。



飲食ブース 対策

レイアウト例



【会計処理推奨】

可能であれば、電子マネー等の非接触型決済を導入する。現金、クレジットカード等の受け渡しが発生する場合には、手渡しで受け取らず、コイントレイ（キャッシュトレイ）などを使用すること。また、コイントレイは定期的に消毒する、会計の都度手指を消毒するなど工夫する。

- ・ 運営スタッフは、備品など使用の前後に手指の消毒を徹底する。また、30分ごとに消毒をする。
- ・ 順番待ちにより混雑する場合は、スタッフが間隔を保つように誘導するか、または整理券の発行等により行列を作らない方法を工夫すること。
- ・ お客様の呼び出しは、大声を出さず拡声器などを使用する。また、クローク札などを使用する。

◆ 検証・課題・反省点

○ 飛沫対策

- 1 飲食ゾーンでのルール掲示
- 2 対面時の飛沫防止シールドの設置
- 3 会計時のキャッシュレス会計の推奨、マネートレー使用の徹底
- 4 クリーンスタッフによる定期的な消毒



- 1 混雑時など観客がベンチを常時を使用している場合には、クリーンスタッフによる消毒が大変だった。総合司会による協力をお願いした。
- 2 キャッシュレス決済の推奨は、出店者の諸条件をクリアする必要があるため全出店者での対応はできなかった。
- 3 アルコール販売も伴ったため、酔いによって密をつくる観客がいたが、警備員と連携し、協力を促した。
- 4 致命的な混雑はなかったが、各飲食ブースの方が待機列を適切にオペレーションした。サイン、目印などの表記物だけでは、すべての観客が気が付かないため、スタッフの声かけと併用する必要がある。

設営・搬入時の感染予防策

事前確認

- ・設営に参加するスタッフが、新型コロナウイルス感染の疑いがあることが事前にわかっている場合は、参加させない。また、そのスタッフと濃厚接触があるスタッフについても参加させないこととしていたが、そのようなスタッフはいなかった。
- ・事前に設営当日に関係するスタッフ全員の氏名、電話番号、問診内容を提出させる。また、当日使用する車両の情報も提出させることとした。
- ・主催者は、上記提出書類確認のうえ、車両の会場への入場許可書を発行した。

**新型コロナウイルス感染症患者の接触者における健康観察票(2枚目)** (添付3)

これは、保健所が作成したもので、搬入作業に対しては注意深く健康チェックを実施してもらい、もし気になる症状が現れたときは、必ず速やかに保健所へ連絡するよう記入して下さい。健康観察は、患者との最終接触日から4日目まで行ってください。

接触番号:		観察対象者氏名:		性別:		TEL:		FAX:		E-mail:	
患者氏名:	発熱との最終接触日時:	年	月	日	時間	患者との関係:					
日付	観測開始日	観測後1日目	観測後2日目	観測後3日目	観測後4日目	観測後5日目	観測後6日目	観測後7日目	観測後8日目	観測後9日目	観測後10日目
最高体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
呼吸器症状	咳嗽	無・有									
	呼吸困難	無・有									
	鼻汁・鼻閉	無・有									
その他	咽痛	無・有									
	結核死血	無・有									
	頭痛	無・有									
その他	全身倦怠感	無・有									
	関節痛	無・有									
	下痢	無・有									
嘔吐	無・有										
その他	無・有										
スタッフの履歴 (電話番号・電話番号・ 住所等)を記載	姓:口( ) 姓:口( )										
備考											
連絡先											
保健所:	担当:	所在地:				TEL:		FAX:			

スタッフは、全員上記健康管理表に記入の上提出いただいで保管している。

設営当日

- ・設営関係者全員は、搬入受付にて手指の消毒・検温を行った。
- ・設営開始から都度、手指の消毒をってもらい、常時マスクを着用。
- ・設営中、会場を離れるスタッフがいる場合は、搬入受付に報告し、再度入場の際は検温を実施。
- ・設営終了後は、スタッフ全員で搬入受付にて、退場の報告をしてもらった。

本番当日～撤去作業

- ・上記 設営当日と同じ対応をした。
- ・スタッフ名簿は、3週間保管し、3週間経過後は破棄。

【設営撤去総括】

設営スタッフも初めての事なので、設営スタート時には検温で列を作ったりもしたが、途中からは手指消毒や機材の消毒なども慣れてきたようだった。

設営・撤去共に感染予防策をしても大きな時間の遅れはコロナ禍前とさほど変わらなかった。

## ステージ上のスタッフ・機材の感染防止対策

## 事前確認

- ・参加するスタッフが、新型コロナウイルス感染の疑いがあることが事前にわかっている場合は、参加させない。また、そのスタッフと濃厚接触があるスタッフについても参加させないこととしていたが、そのようなスタッフはいなかった。
- ・事前に設営から当日関係するスタッフ全員の氏名、電話番号、問診内容を各業者ごとに主催者へ提出してもらっていた。

## 本番当日

- ・運営スタッフは、身体的距離の確保として、最低1m（できるだけ2mを目安に）を確保した。
- ・運営スタッフは、備品など使用の前後に手指の消毒を徹底する。また、30分ごとに消毒を実施してもらった。
- ・マスクと手袋は必須装着とした。
- ・イベント開催中は、スタッフ間会話で大声は出せないため、トランシーバー等を活用した。
- ・エコステーションスタッフに関しては、感染防止のため、マスクに加えて、フェイスガードも装着。



マスクと手袋装着で作業を行うスタッフ

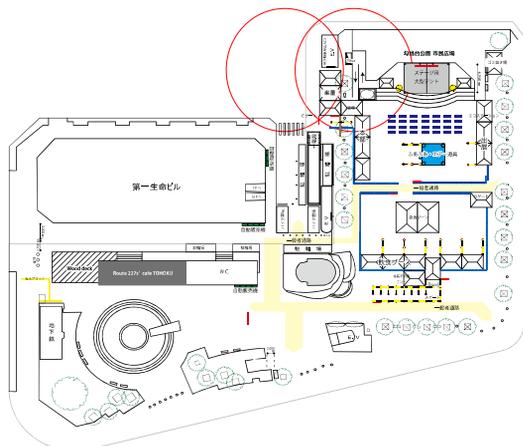
## スタッフの名簿保管

- ・スタッフ名簿は、3週間保管し、3週間経過後は破棄。

## 【スタッフ関係総括】

過去に例のないイベント展開のため、ゲートでの検温、消毒の徹底など初めての業務が多く、混乱も予想したが、事前の研修やマニュアルの配布、朝礼時のオリエンテーションにて、大きな混乱もなく対応できた。

ただし、業務が増えるため比例してスタッフ数も必要になるため、相応の予算の確保が今後の課題となる。



【対象ゾーン】

- メインステージ
- 登壇者 司会者
- バックステージ スタッフ
- 楽屋

◆ 感染防止対策

- ・ 飛沫防止のシールドを設置する。
- ・ 使用するマイクは、使用者が変わる都度、マイクの除菌をする。
- ・ 講演が30分以上続く場合、講演者は30分ごとに手指をアルコール除菌する
- ・ 登壇者同士の、身体的接触は控える。
- ・ ステージに関わる登壇者、スタッフは備品など使用の前後に手指の消毒を徹底する。
- ・ 消耗備品などは、ほかの登壇者に再利用しない。また、使用済みかどうか確認できるよう表記する。その場合、ふた付きのごみ箱などを利用する。
- ・ 機材や備品、用具などの取扱者を選定し、不特定者の共有を制限する。

◆ 検証・課題・反省点

- ・ マイクシールドやステージ上で使用する機材の消毒の実施、ステージスタッフのゴミ手袋着用など、事前に講じた感染防止策については、事前に打合せを念入りに実施したこともあり、マニュアル通りに出来ていた。



司会者のマイクシールド



出演者専用のマイク（都度除菌）  
演台等は全て都度除菌



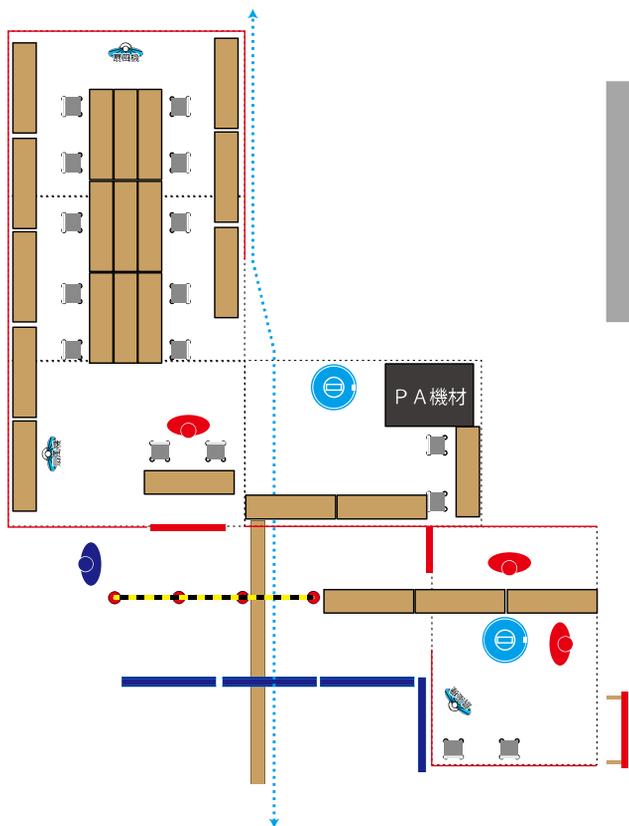
長時間出演者用のマイクカバー

- ・ バックステージスタッフは、なるべく身体的距離の確保として、最低1m（できるだけ2mを目安に）を確保して作業する。

- ・ ステージ転換の際に、次のステージとの時間の関係もあり、急いで動く為、スタッフ同士が1mを確保する事が難しい「瞬間」は出来てしまっただが、スタッフはマスク着用、声を出さないという事で対応した。

◆感染防止対策

- ・楽屋内は、扇風機などを使用して常に換気する。
- ・消耗備品などは、ほかの登壇者に再利用しない。また、使用済みかどうか確認できるよう表記する。その場合、ふた付きのごみ箱などを利用する。
- ・機材や備品、用具などの取扱者を選定し、不特定者の共有を制限する。



◆検証・課題・反省点

- ・換気は出来ていた。
- ・マウスシールド等消耗品は、お一人ずつにお渡しし使用して頂いた。  
登壇者のシールドはそのままお持ち帰りいただいたので、ふた付ごみ箱は未使用。
- ★楽屋テントにおいて、セレモニーの直前に、多くの方がセレモニー出席者への挨拶に訪れるなど、一瞬混雑が見られた。しかし、すぐに登壇になったので、数分のことであった。  
→この事から、今後は、登壇者以外の来賓関係者の立ち入りは可能な限りスタッフにて楽屋テント入室への制限をかける必要があると思われる。
- ★楽屋テントでの打合せ中、屋外ということと、ステージの音も聞こえている為、マスクをして打合せをテントでしていると聞こえづかった。  
→司会者にすぐに登壇してもらう必要があるなど、進行上の理由によって、ステージから遠い場所での打合せは難しい。例えば、出来るだけ書面で事前にやり取りをする等、やり方の工夫が必要かと思われた。
- ★高校生の出演者がステージにてストリートダンス終了後に一部マスクを外してしまった（踊った後で息が苦しくて）生徒がいたが、先生を通して注意喚起し、2回目の出演ではマスク着用してもらった。  
→今後、事前の説明資料でもステージ出八ヶのマスクマナーについても出演者をお願いしておく必要がある。

## ◆感染防止対策

- ・飛沫防止のシールドを設置する。
- ・使用するマイクは、使用者が変わる都度、マイクの除菌をする。
- ・登壇者同士の、身体的接触は控える。
- ・ステージに関わる登壇者、スタッフは備品など使用の前後に手指の消毒を徹底する。
- ・機材や備品、用具などの取扱者を選定し、不特定者の共有を制限する。

## ◆検証・課題・反省点

- ・登壇者は、身体的距離の確保として、最低1m（できるだけ2mを目安に）を確保した。
  - ・掛け声や笛等を演奏する出演者には、マウスシールドを装着いただいた。
  - ・テープカット等式典でも、自席やテープカット並び上も距離を保っていただき、お話をされない登壇者にもマウスシールドを着用いただいた。
  - ・セレモニーでのアテンダントスタッフは、フェイスシールド、マスク、手袋を着用の上で、テープカットのハサミや手袋を渡す補助をしてもらった。
- ★ステージ前のお客様で、アルコール摂取された方が声を張り上げたり、踊り出したりという場面があったが、すぐに警備員に動いてもらいおさまった。  
→今後は飲食スペースで、看板サインやアナウンスでの随時告知を徹底する必要がある。



ステージ上でも距離を保って整列いただく



出演者にはマウスシールドを装着いただく



多数の出演団体でも、人と人の間にアクリルシールドをおくことによって、飛沫を防ぐ対策をした。

## 【感染防止観点からみた課題・反省点・次回に向けての改善点など】

### ①会場全体/出店/受付

- ・今回は来場者数の上限を2,000~3,000人と設定しての運営だったが、今後、政府が屋外でのイベント入場制限緩和が広がり、仙台でも今回以上の来場人数となると、スタッフ数・待機列のさばき、会場レイアウトの再考などが必要になってくると思われる。
- ・主催者として、市民広場で開催する無料イベントについて、入場制限を設けて運営することは初めてであり、カラーバンドで人数管理をするのも初めてのことであった。主催者が状況に応じて入場者数をコントロールできるということを実証できたということは今後のWithコロナ時代のイベント開催においてプラスとなったと感じる。

### ②スタッフ(警備含む)

- ・検温・消毒・登録(名前、連絡先)は特に問題なく協力をいただくことが出来た。入場口でのカラーバンドの装着、退場口での着脱に時間を要してしまうことが見受けられた。今後のスムーズな入退場のためにオペレーションを検討する必要がある。改善策として、入場時にはスタッフの増員と入場口を増設し、また待機列の段階で手指の消毒~連絡先の登録を済ませ、検温~カラーバンド装着をスピーディーに行えばスムーズな入場とすることが出来ると思われる。退場時はカラーバンドの取り外しスタッフの増員、また来場者が自分でカラーバンドを取り外すことが出来るブースを設置すれば退場もスムーズになるとと思われる。
- ・アテンダントを準備して、(一社)日本感染症学会・(一社)日本環境感染学会発行の「-VS感染症- FUSEGU BOOK」を来場者に配布した。また、MICA推奨ブースでは宮城県の職員の方のアシスタントを務めたが、COCOA推奨ブースでは厚労省からの人的応援までは難しく、COCOAのPRが積極的に出来なかった。
- ・お酒に酔って大声を出したり、踊ったりする来場者が見受けられたが、警備員とスタッフが冷静に協力要請を行い、速やかに対処することが出来た。

## 【マニュアルの達成状況】

- ・ほぼ達成できた。
- ・来場者の方が大変協力的だった。

## 1. 収入について

1. 収入				
項目	決算額	内訳		
出店料収入	100,000	出店者 10,000円 × 10店舗		
協賛金	2,829,800	協賛金(ビーエッチ株)		
補助金交付申請額	6,000,000	仙台市補助金		
合計	8,929,800			
2. 支出				
項目	決算額	内訳		
		通常イベントで 必要となる経費	感染症対策のため の追加経費	
警備費用	468,600	設営・撤収及び夜間警備	183,480	
		入退場・巡回警備 6名	0	194,700
		営業管理費(コロナ対策事前研修費)	0	90,420
出演者他	352,000	MC・出演者交通費他	176,000	
		営業管理費(コロナ対策事前打合せ)	0	176,000
運営管理費	726,000	企画制作・進行費・D他人件費	170,500	
		スタッフ昼食代	47,520	
		営業管理費(事前打合せ等)	304,480	
宮城・仙台ルール 普及ブース費用	734,800	検温済証 5,000枚	0	151,800
		ホームページ更新費用	0	33,000
		チラシ印刷代 5,000枚	121,000	
		ブース製作費	110,000	
		普及ブースコンパニオン 2名		49,500
		営業管理費(チラシデザイン費他)	132,220	
看板関連費用	921,800	営業管理費(検温済証デザイン・HPデザイン料)		137,280
		会場立看板 6枚 / 3枚	110,000	66,000
		ステージ横看板 1枚	110,000	
		注意喚起サイン 4枚		88,000
		会場内サイン 20枚		110,000
		看板他備品	55,000	
		営業管理費(看板デザイン費他)	191,400	
		営業管理費(看板デザイン費他)		191,400
感染症対策費用	1,358,500	消毒関連備品 アルコール5ℓ他	0	88,286
		サーマルカメラ多人数型 1台	0	93,500
		サーマルカメラ管理オペレーター 3名	0	82,500
		飛沫防止パーティション 28枚	0	275,000
		サーキュレーター 3台	0	14,850
		クリーンスタッフ 19名	0	334,400
		ディレクター 1名	0	37,400
		営業管理費(スタッフ研修費)	0	298,364
		営業管理費(オペレーター研修費)	0	134,200

音響・照明関連費用	770,000	音響関係 一式	165,000	
		ステージ照明機材	99,000	
		会場内電気設備	330,000	
		営業管理費(照明、電気スタッフ研修)		176,000
会場設営関連費用	2,025,100	ステージテント 1台	220,000	
		運営テント 11棟	242,000	
		ブーステント 6棟/2棟	132,000	44,000
		休憩・客席テント 2棟	110,000	
		会議用折り畳みテーブル 50台	55,000	
		折り畳み椅子 100脚	22,000	
		客席用ベンチ 30台/30台	39,600	39,600
		入退場管理用フェンス 150台		198,000
		ページェントオブツリー 2本	330,000	
		スタッフ用ユニフォーム 50着	89,411	
		営業管理費	503,489	
各種諸経費	1,573,000	設営スタッフ/チーフ 2名	55,000	
		設営スタッフ 10名	198,000	
		撤去スタッフ/チーフ 2名	55,000	
		撤去スタッフ 10名	198,000	
		本番管理スタッフ 2名	55,000	
		搬入費	165,000	
		搬出費	165,000	
		設営・撤去機材費	165,000	
		設営撤去諸経費	55,000	
営業管理費	462,000			
合計	8,929,800		5,622,100	3,307,700

## 2. 予算設定について新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて工夫したこと・苦慮したこと

### 1 収入

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた仙台市内の飲食店の支援のため出店料を1店舗10,000円とし、出店料収入は10店舗で計100,000円となった。コロナ前の市民広場におけるイベントと比較するとかなり安価であった。入場制限をする場合には、出店者の売上額も大きくは期待できないこともあり、今回の出店料の設定は妥当であると思われる。

・コロナ前であれば広告協賛等を集めて収入源とするところであったが、多くの地元企業が業績不振の中、協賛を募ることが困難であった。結果、当会の構成団体が協賛金を拠出するしかない状況であった。

### 1 支出

・入場口ゲートスタッフ(A、B、Cゲート)は、コロナ前であれば3名程度の配置で問題ないポジションではあったが、入場制限を行う関係で計11名を配置した(費用は7割増加した)。また、警備員もコロナ前であれば設営・撤去・夜間見張りに計6名程度の配置とするところだが、今回は入場口・巡回警備に追加で計6名を配置する必要があった(費用は5割増加した)。

・接触確認アプリ「COCOA」を来場者に広く知ってもらうために、普及ブースを設置し、広報チラシも印刷をしてアテンダントを配置したが、厚生労働省からの人的応援は難しく、来場者の興味を引くまでには至らなかった。アテンダント費用、チラシ印刷代を考えると費用対効果的には厳しいものがあった。

## 3. イベントを終えての収支面での課題など(感染症対策の過不足等について)

### (1) 収入

・前述にもある通り、しばらくは入場制限を実施したうえでのイベント開催が見込まれるため、企業は経営状況や広告面での費用対効果を考慮し、協賛金の拠出には二の足を踏む状況が見込まれる。よって、主催者側は収入面での苦戦を強いられると思われる。

・また、「NEW NORMAL for SENDAI」開催時の感染状況やイベント開催に対しての雰囲気においては、飲食ブースでのテイクアウトの食事販売は問題なかったが、アルコール販売についてはマスクを外す機会が増え、感染症へのリスクが高まることが懸念されたため、ビール系飲料の売上が見込めず、その結果、これまでの屋外イベントの大きなスポンサーであったビール系企業の協賛獲得が難しかった。

## (2) 支出

- ・ステージの音響スタッフ数は、備品消毒等の作業が増えることにより、スムーズな進行のためには、通常よりも多く確保する必要がある。よって、今後も予算は多めに確保しなければならない。
- ・会場サイン（看板）は、来場者への注意喚起事項が多く、枚数が増えているため、こちらについても予算を多めに確保する必要がある。
- ・全ての関係スタッフが同じ意識とレベルで感染拡大防止マニュアルを理解しなくてはならない。そのため事前の感染防止研修は必須となり、その費用も考えておく必要がある。

## 4.本イベントにおいて実施した費用が発生しない(あるいは少額の費用で実施できる)感染症対策

- ・主催者HPを利用して、イベント来場者へ向けた感染対策についての注意喚起。
- ・会場内での宮城県コロナ対策アプリMICAのPR用グッズの配布。

## 5.収支面での総括

・今回は予定来場者数を3,500名/1日に設定して入場制限を設けた。市民広場におけるイベントとすれば少ない人数であり、コロナ前同様の出店料を徴収した場合には、出店者は利益を得ることが難しいと判断した。今回は飲食出店者の出店料を10,000円/日と安価にしたこともあり、ほとんどの出店者は利益を得ることができた。

しかし、今後、コロナ前同様の出店料を徴収された場合、来場者数は今回の来場者数の約3倍である10,000人を超えなければ利益を得ることは難しいと思われる。その一方で、コロナ禍における勾当台公園市民広場でのイベントにおいて10,000人を会場に入れるということは確実に密な状態を作り出してしまうことになり、クラスターが発生する恐れもある。やはり、当面の間、出店料は今回と同額又は高くても30,000円程度が限界であると思われる。

・今回は感染対策として、会場内に密を作らないために入場制限を実施した。そのために、サーマルカメラ、フェンス、注意喚起看板等の掲示物、その他多くの物的費用、また入場時のサーマルカメラ管理スタッフ、会場内のクリーンスタッフ等の人的費用、多額の感染対策費用が必要となった。

・上記の通り、主催者としては出店料を収入源とすることが難しいと思われる。また、コロナ感染拡大の影響により、多くの地元企業が打撃を受けており、協賛収入に依存することも難しい。よって、イベント主催者はこれまでとは違った収入源を確保することを検討していく必要がある。また、感染症対策として必要と思われるフェンス等の物品について、会場での貸出が可能になれば、一定程度主催者の負担が減少すると思われる。

# 運営スタッフアンケート結果

## 1. スタッフ

### ① 入場口A (担当スタッフより)

- ◇来場者の皆様は検温・消毒について特に抵抗はなかった。ただ、Googleフォームでの名前・連絡先の登録が高齢者は難しく、手書き署名する方も多かった。
- ◇多い時で20名程度の待機列で済んだが、人数が多くなると今回と同様のやり方ではオペレーション的に難しいと思われる。
- ◇カラーバンドの装着に時間を要することがあった。冬場はコート等を着用する方も多く、コート袖にカラーバンドが隠れてしまうので冬場のイベントには適していないかもしれない。

### (以下、担当責任者より)

- ◇当初の待機列のレイアウトはほとんど告知していないことからさほど混み合うことがない想定だったと思うが新聞記事に告知とも取れる内容が掲載されたことから、長い待機列ができた場合に対処できるよう、当日の朝にレイアウトを変更して実施した。
- ◇結果として最大の待機列はおおよそ20名程度だったと記憶しているが来場者同士の距離は、スタッフ及び警備員による声かけで十分対応できた。
- ◇マスクを着用していない来場者はほぼおらず、準備していたマスクは数枚配布した程度であった。
- ◇私が確認できている限りでは、マスクをせずフェイスガードシートを着用していた来場者が1名いた。
- ◇受付の際の個人情報取得について、ほぼ全ての来場者はすぐに納得していただいた。  
1名のみ拒否された来場者(おそらく70代男性)がいたものの「すでに入場されている来場者は皆ご納得の上、記名している」旨を伝えたとこ帰られた。
- ◇待機列がある時には、待機中にも入力できるWEB上での来場者登録が効果的であった。但し待機列がない時間帯が多かったため、用紙に記入して入場される方も多かった。
- ◇サーマルカメラに誤作動があった場合は非接触型体温計を使用した(数名)。
- ◇1名のみ38℃台の来場者がいたが、数分ほど待機テントで休んでいただいた後自ら帰られた。
- ◇結果的に入場規制を発動する機会がなく、クレームはなかった。
- ◇午前中に入場された方が何組か入れ替えのため再入場されたが理由を理解されているので混乱はなかった。

### ② 入場口B・C (担当スタッフより)

- ◇飲食エリアとステージエリアへの移動の確認はご家族連れの場合には多少混雑することがあったが、極端に混み合うこともなく、スムーズに移動出来たと思う。
- ◇退場のする方のカラーバンドをハサミで切る際に怪我や衣服への損害を考慮して時間がかかってしまうことがあった。

### ③ 消毒(クリーン) (クリーンスタッフより)

- ◇飲食エリア、ステージエリア共に椅子の消毒をするタイミングが難しかった(3人掛けでも誰かは座っていることが多かったため)

### ④ エコブース (エコブーススタッフより)

- ◇飲食出店者が12店舗と多くなかったため、常時2名程度のスタッフで十分に対応出来た。

## 2.コンパニオン、アテンダント

### ①宮城県(MICA) (コンパニオンより)

◇宮城県の担当者とMICAのPR用テッシュ500セットを来場者に配布したが、あとはブースでの待機が多く、どれだけPR出来たか微妙な感触であった。

### ②アテンダント(COCOA、感染症予防パンフ配布) (アテンダントより)

◇COCOAを広めるためにブースを用意したが、厚労省からの人的な応援までは難しかった。当初はブースに待機していたがあまり来場者の興味を引くことは出来なかった。

◇東北薬科大の藤村先生のセミナーの際に「感染症予防ハンドブック」を来場者に配布したところ大変好評であった。

## 3.警備員 (警備会社より)

### ①入場口A及びC

◇入場時は特にトラブルもなく、スムーズな案内が出来た。

### ②会場内巡回

◇お酒を飲んで酔っ払ってしまい、ステージ観覧中にお客様同士が密な距離となり、観客席でダンスをするという事案が発生した。主催者と一緒にダンスはNGと伝えて対処した。

◇ステージ観覧席でお酒に酔ってしまい、椅子に3人掛けをしているお客様がいた。別な席に2～3度にわたり移動をお願いしたが移動してもらえなかった。酔ったお客様への対応について対策を協議する必要がある。

## 4.飲食出店者 (当会出店担当者より)

◇火を使っている出店者の中には暑いせいか時折、マスクを外している人もおり、来場者からクレームが入った。しかし、一時的なものであり、常にマスクを外していたわけではなく、出店者に強く指導することはしなかった。

◇出店料の金額を1万円としたこともあり、ほとんどの出店者はある程度の売上があり、黒字となり満足していた。若手世代の来場者よりも、中高年の来場者が多く、食べ物の売上はまずまずであったが、お酒(ワイン、日本酒)の販売をしていた出店者の売上は芳しくなかった。

◇コロナ渦における、入場者数の制限がある屋外イベントでは、予定入場者数で幅はあるが、当事業と同規模であれば、出店料は1万円～3万円が出店者が採算を確保できる限界であると思われる。

## 5.司会者 (司会者より)

◇マイクにシールドをつけていただいたので、ステージではマスクを外して司会を務めることができました。

聴覚に障害があって口を見て話を理解したり、表情で楽しめる方も多くいますので、登壇者の顔が見えることは大いによかったと思います。

◇ゲストの登壇者の皆さまのフェイスシールドですが、感染対策のためにご自身で新品を開封してその場で耳にかけの紐などのセットをしていただきましたが、場合によって、高齢の方などは、テントの中のうす暗い場所で紐を通すなど細かい作業は大変かもしれません。マスクやビニール手袋で対策をしたスタッフがあらかじめ準備をしておいて、清潔な袋で保管したものをお渡しするだけなどの工夫をしてもよろしいのではないのでしょうか。

◇ステージ前のベンチは、3～4人掛けで、中央が座れないようにパネルを貼ってご案内していました。途中、中央に座る方がいらっしやると、スタッフがお声をかけて空間を作っていました。それはよいのですが、小さいお子さん連れの4人家族にも同様にしているのをみかけました。赤ちゃんを抱いて、小さい子の手をつないだ親御さんの間を無理にあけて、結局お父さんがベンチの横に立って・・・という様子は不自然に思いました。日頃から一緒に食事するような間柄のお連れさまは、並んでもよいのでは？基準の設け方や、判断の仕方は、難しいのかもしれませんが・・・たとえば、1グループ1ベンチなど。

## 6. 音響（音響会社より）

- ◇電気工事に関しては大きな変化はなし。夏場はマスクを着けての作業は少々負担になるかもしれない。
- ◇仕込日・本番日ともに作業開始前の検温などがあるので余裕を持った集合時間の設定が必要。
- ◇音響に関しては、マイクの消毒やマイクシールドの付け替えの時間がかかるので、ステージプログラム間の余裕がほしい。
- ◇マイクシールドやマスクはマイクの音質にかなり影響するので、音響的にはやや難易度が高くなる。
- ◇主催者側、スタッフ側ともに感染対策用の備品購入のコストがかかる。
- ◇接触、ソーシャルディスタンスは守られ、無事に終え、クラスターも発生しなかったのでよかったと思う。
- ◇音響は仕込みと撤去に大きく影響は無いと思う。強いて言えばマスクが息苦しいので普段より疲れ易い、汗をかきやすいくらいです。
- ◇本番やりハーサル中感染予防の為に、使用したマイクの消毒を行うのは割と時間がかかるのでスケジュールには余裕をもちたい。
- ◇マイクシールドの取付や消毒等に時間を要するようになったので、設営運用手順の管理をより緻密に行わなければならないとなった。
- ◇本番中はイレギュラーの対応を含め、あらかじめ定められた通りの対策を講ずることができた点はよかった。
- ◇密対策と飛沫対策として、マスクができない出演者の動線とスタッフの動線はある程度分けた方がよいと感じた。
- ◇転換の際に薄手のゴム手袋を支給され使用したが、転換中に破けたり蒸れて衛生的ではなかったりと使用感があまり良くなかった。⇒自身が使用している作業用の皮手袋のほうが衛生的かつ見栄えの問題も解決し、ステージスタッフの感染予防につながると感じた。
- ◇マイク等の消毒が十分にできたと思う。
- ◇ステージ転換の際にゴム手袋、ビニール手袋を着用していたが、すぐに汗でびしょびしょになってしまい逆に不衛生だと思ったので布手袋などの方がいいと思った。
- ◇出演者の待機場が少し密になっていたと思う。

# 市民アンケート集計結果

- 実施イベント名称：  
「新しい生活様式」普及イベント  
～NEWNORMAL for SENDAI～杜の都復活祭
- 実施日： 2020年10月3日（土）
- 実施場所： 仙台市民広場SENDAI光のページェントブース内

## 実施アンケート内容

## フォーム：紙／WEB

## アンケートご協力をお願い

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。恐れ入りますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による新しい生活様式について、以下のアンケートへのご協力をお願い致します。

- 性別： 男性 女性    ●年齢： 10～20代 30～40代 50～60代 70代以上  
●お住まいの地域： 仙台市内 宮城県内 宮城県外 国外

1. 本イベントは、「新しい生活様式」に基づいたイベント開催ガイドライン「宮城・仙台ルール」に則り開催されました。どの程度対応できていると感じていますか。

- 対応できている まあまあ対応できている 対応できていない

2. 今後、「新しい生活様式」をもっと普及・啓発すべきだと思いますか。

- そう思う どちらでもよい そうは思わない

3. 本日のイベントに参加し、「新しい生活様式」に対する理解が高まりましたか。

- すごく高まった まあまあ高まった どちらでもない それほど高まらない 全く高まらなかった

4. 今後、「新しい生活様式」を踏んだ、安心して参加できるイベント（観光資源となっているイベント）があれば参加したいと思いますか。

- すごく思う まあまあ思う どちらでもない それほど思わない 全く思わない

5. 今年中止を余儀なくされた観光資源事業（仙台七夕まつりや、仙台青葉まつりなど、仙台を代表するイベント）は、「新しい生活様式」を取り入れ来年以降開催すべきと思いますか？

- 開催すべき どちらでもよい 中止すべき

6. コロナ禍における「2020SENDAI光のページェント」の開催について、意見をお聞かせください。

- 感染拡大防止策を厳し、開催すべき 例年通り開催すべき 今年は開催すべきではない

7. その他ご意見等ございましたらご記入ください。

理由

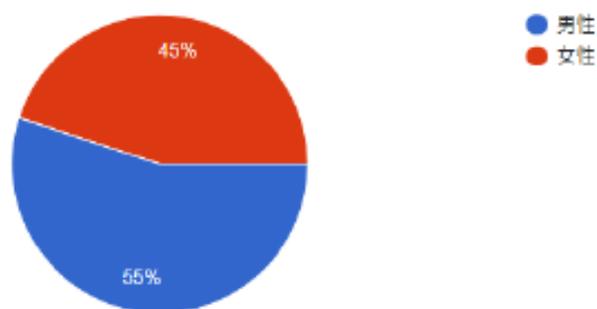
ご協力ありがとうございました。



## 実施アンケート 回答 1/4

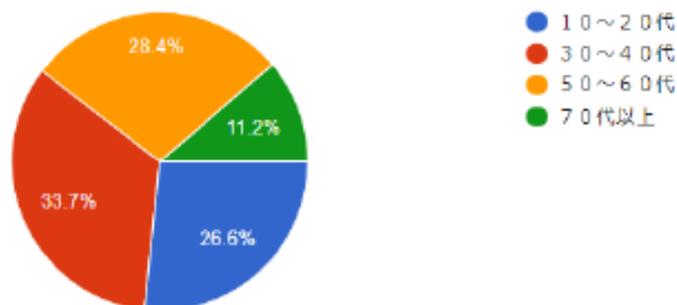
## 性別

169 件の回答



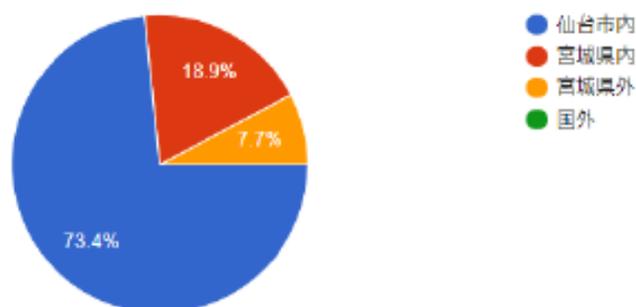
## 年齢

169 件の回答



## お住まいの地域

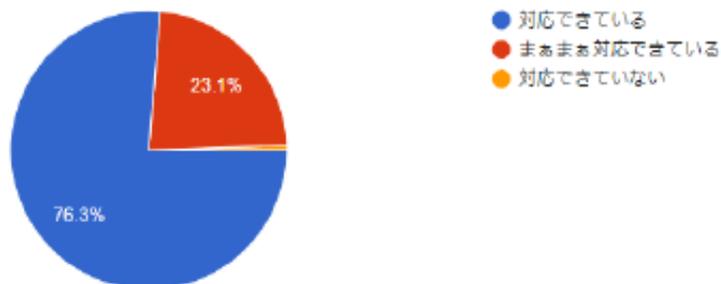
169 件の回答



## 実施アンケート 回答 2/4

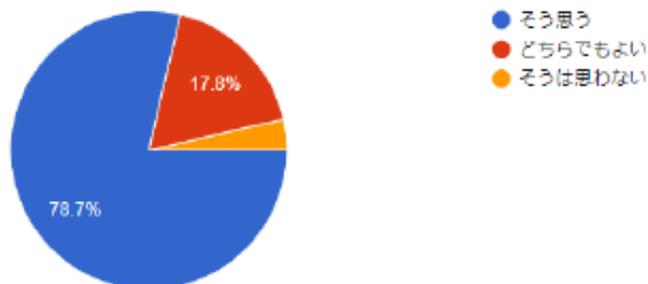
1. 本イベントは、新しい生活様式に基づいたイベント開催ガイドライン「宮城・仙台ルール」に則り開催されました。どの程度対応できていると感じていますか。

169 件の回答



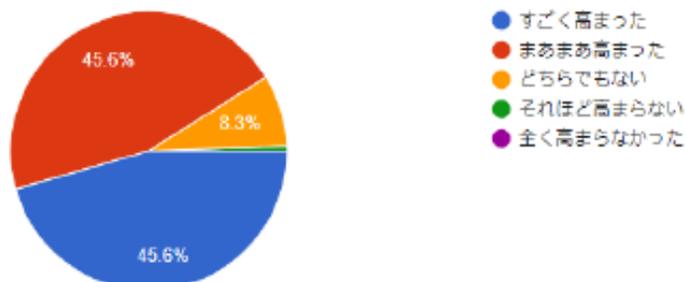
2. 今後、新しい生活様式をもっと普及・啓発すべきだと思いますか。

169 件の回答



3. 本日のイベントに参加し、新しい生活様式に対する理解が深まりましたか。

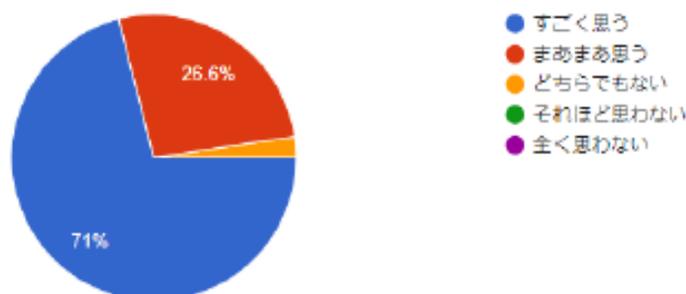
169 件の回答



## 実施アンケート 回答 3/4

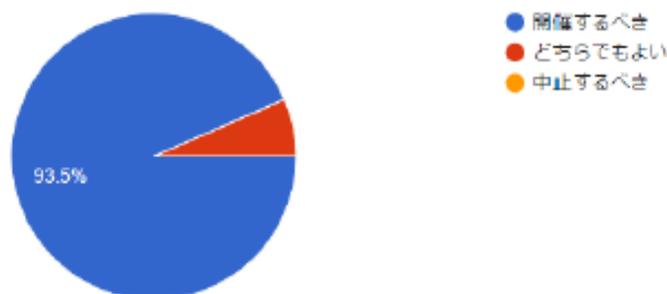
4. 今後、新しい生活様式を励行した、安心して参加できるイベント（観光資源となっているイベント）があれば参加したいと思いますか。

169 件の回答



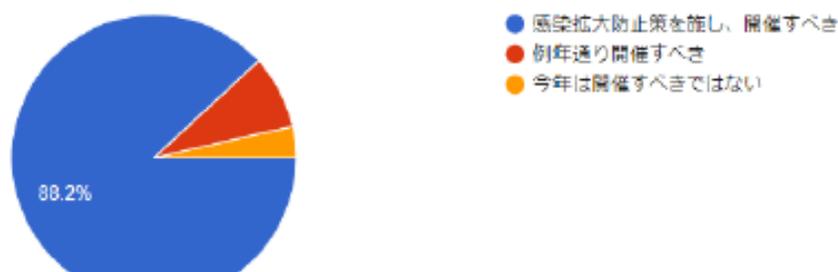
5. 今年中止を余儀なくされた観光資源事業(仙台七夕まつりや、仙台青葉まつりなど、仙台を代表するイベント)は、新しい生活様式を取り入れ来年以降開催すべきと思いますか？

169 件の回答



6. コロナ禍における「SENDAI光のページェント」の開催について、意見をお聞かせください。

169 件の回答



## 実施アンケート 回答 4/4

## 7. その他ご意見等ございましたらご自由にご記入ください。

42件の回答

- ・ 独自ルールがあるんですね。応援しています。
- ・ 各イベントで、このイベントに参加したから安心。感染してないと自信が持てるイベントにしてほしい。
- ・ 頑張っ！
- ・ まちに元気を！
- ・ 経済を活性化させるためにも、新しい生活様式を取り入れ、・イベントは開催した方が良いと思う。
- ・ コロナを恐れずどんどん開くべし
- ・ 屋外のライトアップは街歩きをしながら見て楽しむものなので、一方通行にするなど、工夫があれば可能だと思います。
- ・ コロナ感染が終息しない中で、少しでも応援できることがあればと思う。
- ・ イベントが相次いで中止になったことは残念で仕方がない。
- ・ これからも市民として応援していきたい。
- ・ 久しぶりに屋台の焼きそばを食べれて満足です！
- ・ 光ページェント開催してください！
- ・ 今年楽しみにしていたイベントがごとごとく中止になり、残念でしたが。せめて年末のページェントはやって欲しいと思います。密になると思われるグリーンベルトは、有料にして人数を制限したらいいと思います。今日は楽しく過ごせました。ありがとうございます。
- ・ イベントなど、経済活動を優先すべき。
- ・ 馴染むまで時間がかかると思いますが、色々な案をどんどん発信して下さい。
- ・ 花火大会や青葉まつり等、音のあるお祭りが大好きです。勿論七夕祭りも好きです！
- ・ 来て良かった！
- ・ コロナ禍はしばらく続きそうなので、新しい方式に対応してやれるといいですね。
- ・ 社の都復活祭に参加できましてありがとうございます。大変楽しかったです。
- ・ イベントが中止または、延期で残念です。感染予防をしながら開催されるようお願います。
- ・ イベント開催して仙台市観光をおおいに盛り上げて下さい。
- ・ 今回のイベント開催にご尽力頂いた方々に感謝しています。やはり、まちの賑わい、活気は、人が集い、笑顔になるイベントが一番だと改めて思いました。
- ・ 来年も続けてください。仙台市は金銭的支援をお願いします！
- ・ 早くコロナが終息しますように
- ・ 今年はせめて光のページェントはやって欲しいと思います。
- ・ コロナの影響の中でイベントが出来たことが素晴らしいと思います。光のページェントも見に来たいです。
- ・ 心意気は理解できるのですが、正直イベントとしての良さが新しい生活様式に潰されすぎているので、新しい生活様式は必要と思いますが、今日のような方式をそのままページェントに施すことには賛成しかねました。バランスはとても難しいと思いますが、いいセオリーが出来上がることを願ってやみません。30分以上もステージ空いているとは思いませんでした。
- ・ 仙台の街中から元気に！コロナがあつて、こういうイベントの楽しさ、良さが再確認できました。ぜひ仙台の良さを発信するチャンスでもあると思うので、全国に先駆けて復活してほしい。
- ・ コロナ対策をしっかりしており、これからも大いに楽しませてください
- ・ 頑張ってください。
- ・ やはり、防止策を徹底し、専門家の意見を聴き、開催の形態も従来の慣習にとられることなく実施してほしい。・ NEW NORMAL元年のスタートとして取り組んで頂けると嬉しいです。
- ・ 私たち市民の協力を広く策定していく啓発をしてください。
- ・ 食のことに注意すれば心配ないと思います(マスク)
- ・ ワクチンが拡散される4月以降までは、無理のない程度の配慮を行ってイベントの準備に励んで欲しいです。
- ・ 一方通行にして双方向の通行によるすれ違いを避ける等の措置で、ある程度のイベントには対応可能かと。ただ、今までの良さが薄れる寂しさは否めませんね…
- ・ 感染防止は必須条件。その上で、このような実験(経験値)を積み重ねることで、安心なお祭りができることが望ましい。
- ・ 検温は必要である。例年通りだと2020年いっぱいには感染が広がるので、収まるまでは中止した方が無難です。
- ・ 久々におまつりに来て良かったです。
- ・ コロナに負けないでほしい。
- ・ テントの横幕は通気が悪いです。札幌のコロナも幕のせいと言われてるし。
- ・ 実行委員会の皆さんお疲れ様でした。
- ・ 頑張ってください！私たちも頑張ります。
- ・ 状況次第
- ・ 応援してます。頑張ってください。